

TOKYO FM/JFN 『ゆうちょ LETTER for LINKS』

中村憲剛が綴る、恩師・オシムへの手紙

「オシム監督に選んでもらえたことで、僕は自分を肯定することができた」

2015年12月20日(日)15:00~15:30 放送

TOKYO FMをはじめとする JFN38 局で放送中の『ゆうちょ LETTER for LINKS』(日曜日 15:00~15:30)では、毎週、各界の著名人たちの「大切な人への手紙」を、女優・羽田美智子の朗読によってお届けしています。

12月20日(日)の放送では、川崎フロンターレの司令塔であり、サッカー日本代表として活躍した中村憲剛選手が、自分のサッカー人生を肯定してくれた恩師、イビチャ・オシムへの感謝の手紙を綴ります。



オシム監督は、とにかく本気だった。

日本代表を本気で強くしたいと思っていることが伝わってくる。日本人の特性を知り、「考えて走るサッカー」を求めた。

僕、中村憲剛は、その本気に、必死で応えたいと思った。僕も本気でサッカーに向き合ってきたことが誇りだった。オシムさんに、「ブラボー！」と言われると、素直にうれしかった。

あれは、日本代表としてピッチに臨んだモンテネグロ戦。自らシュートを打って大きくはずした。それを見たオシム監督が怒りをあらわにして、ペットボトルを投げるのがテレビに映しだされた。

小学1年生からサッカーを始めた中村憲剛。体が小さいというハンデを乗り越える方法を必死で考え、自分だけの強みを探して、練習に明け暮れたといいます。

2003年、川崎フロンターレに入団。転機が訪れたのは2006年、イビチャ・オシム監督が、日本代表を選出するそのとき・・・「ほとんど諦めていた」という中村憲剛のもとに代表選出の知らせが舞い込みます。

「オシムさんがいなかったら今の自分はない」という中村憲剛が、オシム監督の本気に必死で応え、ともに「考えて走るサッカー」を目指した濃密な日々を振り返ります。

放送は12月20日(日)15時から。どうぞお楽しみに。

■『ゆうちょ LETTER for LINKS』番組概要

◇放送日時： 日曜日 15:00~15:30

◇放送エリア： TOKYO FMをはじめとする JFN38 局ネット

◇番組内容： いまだからこそ書きたい、あのひとへの手紙。人生を変えた人との絆・・・。各界の著名人たちの「大切な人への手紙」を、女優・羽田美智子の朗読でお届けしているプログラム。

◇番組 HP: <http://www.tfm.co.jp/links/>

